月刊びゃっきープレス

byacky press

2008

10 月号

毎月初回ライブ日発行

料配布 ↑あたりまえ

ライブ予定

2008年11月9日(日) 東高円寺 KAZTOU

(謝)びゃっきーライブ連盟

http://www.satram.jp/byacky/

byacky@satram.jp

びゃっきーご本人かライブハウスの人 配



立てることにした。インストにも手を出 え、カゼをひいてしまった場合の対策も につとめてきたが、今回の反省も踏ま をひき、聞き苦しいライブをお届けして しまった。今まではカゼをひかないよう 8月から9月にかけて、2度も夏カゼ

った。 さないように注意 着用して生活し、夏 どひいてはいけな 今年はカゼにつかま だ。でもダメだった。 意深く生きてきたの 寝る際にも体を冷や でも長袖を着用し、 来た。日々マスクを し、それはそれは注 い、と自分を律して 歌うたいはカゼな

> うヤツである。 ストロメンタルとい

ところが、いざ手

曲を用意することに

そこで、歌なし

のCDは、過去のオ ど聴かれないジャズ

した。世に言うイン

もジャズは素養もな たのだろう。そもそ レが処分してしまっ

を求めてさすらう ナリティらしきも いんだから、オリジ

L 0 である。

だった。特にカゼは しまい、安静の日々

ノドに来るので厄介

のではままならない

まったので、ほとん

と参考にしたところ やめにした。もとも

も) 同じにはできな で、(しようとして いっぱいになってし

こともある。

困るので、対策とし出なくなる。それは が出るぐらいに声が と、日常会話に支障 いひどいかと言う た。ひどい時は本当 はとてもひどかっ にひどい。どれくら そして今回のカゼ

(びゃっきー)

くなっても筆談が可 を持ち歩くことにし て、ホワイトボード た。これで声が出な も、インストロメン という話もある。 と、どちらがマシかインストロメンタル クソなオレのピアノ うオレのヘタクソな というより無理でな タルをやることはも 歌と、ピアノの 咳を我慢しながら歌 いかい? そもそも いずれにして ヘクタ

なぞ、オレの技量で いる。その情報量を りの表現力を持って うものは、単純なメ がけてみると、なか ピアノに持っていく ロディーでも、かな は、かなり厳しい。 なか難しい。歌とい

レはピアノ弾き語り

けである。なんでオ Dがあと数枚あるだ で、他はライブで聴 CDが2枚ある程度 Dなぞ、 スエミツの CDがほとんどな ので、参考にはなら ければ好きでもない いて良かった人のC い。ピアノ弾きのC なかったかもしれな そもそもピアノの

上がり、演奏技術も機会である。このお機会である。このお ほしい。に、温かく見守って なる。願わくばあま かないのだった。 れてしまわぬよう りの大変さに心が ら、全体の底上げに がるというの な

くり腰を1回やって ぜを2回ひき、ぎっ く病弱だった。夏カ 今年の夏はとにか はもちろんだが、

は常に咳止めを入れ うのもかなりまず 咳をこらえながら歌 合、そうはいかない。 てあるが、そんなも いし、思い切りも悪 音程も安定しな

くなる。ライブの時 に持ち歩くカバンに 声が出ないとまずい

何かのCDを参考でも作るしかない。 ヤズのCDが2枚ほ とんど聴いてないジ にしようとCDの棚 ルのCDがない。ほ を見てみるが、ピア ノインストロメンタ

そうか。CDの棚が どあったはずだが。 で、参考にするのは

か。 にあることだろう である。辛うじて救 ターロックばっかり う? CDの棚はギ をやってるんでしょ っかりしたところ ハードのCDが大量 いなのは、プログレ CDの棚を見てが



能である。

これがライブの場

う決めたので、